

平成24年度 第1回長野市上下水道事業経営審議会 議事要旨

日 時：平成24年7月19日（木）14:50～16:32

会 場：長野市役所第二庁舎10階 講堂

1 開 会

2 管理者あいさつ

3 会長あいさつ

4 新審議会委員等自己紹介

○委員の交代により、新委員へ委嘱書を交付

5 事務局新任者自己紹介

6 報告

(1) 下水道使用料の賦課漏れについて

○資料1「下水道使用料賦課漏れについて」事務局から説明

(2) 下水道汚泥の放射能測定結果について

○資料2「東部浄化センター汚泥等保管状況」について事務局から説明

○質疑応答等

[委 員]

- ・ 汚泥焼却灰の処理について、以前はセメント原料として処理をしていたものが、人口砂原料に代わったが、費用に変更はあったか。

[事務局]

- ・ 新たに出る灰については、セメント材料として搬出している。人口砂として搬出しているものは、放射線濃度が高いためこれまで保管していたものである。処分単価については、セメント材料に比べ1万円強コストアップとなったが、コストアップ分については、東京電力に請求する予定である。

7 議 事

○前回審議会の議事録の承認

- ・ 修正意見なし、承認される。

(1) 今後の水道事業について

○資料3-1「水運用計画」

○資料3-2「老朽管の解消について」

○資料3-3「簡易水道統合計画」について事務局から一括説明

○質疑応答等

[委 員]

- ・ 平成23年度末で、老朽管解消概算事業費174億円とあるが算出根拠は何か。
- ・ クリプト対策として、どのような方法があるのか。

[事務局]

- ・ 174億円は、昭和47年以前に布設した172km分の費用を算出したもの。平成30年には303km、平成40年には535kmが新たに追加される。
- ・ クリプトスポリジウムの対策としては、ろ過や膜処理、紫外線処理といった方法がある。

[委員]

- ・ 簡易水道事業において、有収率が低い理由は何か。

[事務局]

- ・ 簡易水道においては、水道管が私有地に布設されていたり、管も鉄管でない場合が多く、漏水調査が進まない状況にあるため、漏水が主たる原因と考えられる。

[委員]

- ・ 現在、使用されている水道管は、老朽対策が施されているのか。
- ・ 老朽管解消と耐震化対策を同時に行えば、事業費を軽減できるのか。

[事務局]

- ・ 昭和40年代前半までは、普通の鉄管であったため老朽化が進みやすかったが、現在のものは防錆対策等が施されている。また、昭和60年代以降は、ポリエチレン管を使用するようになった。ただし、防錆加工された鋳鉄管の場合でも、土壌により腐食する可能性があるため、現在では、管の周りに砂を入れて腐食を防いでいる。
- ・ 現在、耐震化と老朽化対策をセットで進めている。したがって、総事業費は変更となってくるので、今後、新しい事業費を策定し提示する。

[委員]

- ・ 老朽管の材質が劣っていると考えられるのは、昭和何年くらいまでの物か。

[事務局]

- ・ 材質的には、昭和40年度以降のものは防錆加工が施されている。ただし、腐食の原因は、土壌や鉄道の傍に布設されているなど、いろいろな原因が考えられるため、一概に材質だけで判断できない。

[委員]

- ・ 施設の整備に要する経費は、水道料金で賄うものなのか。

[事務局]

- ・ 公営企業の場合、費用の全てを料金で賄うことが原則である。ただし、建設工事費の一部については、昨年度から国の補助金を受けることができるようになった。補助率は4分の1程度と低率であり、補助残額は受益者負担であることから、今後、財政推計を行い料金の改正が必要かどうかお示ししたい。

[会 長]

- ・ 一般的な管理運営については、効率的な経営が図られているが、資本的費用に対する返済、施設の更新、簡易水道事業の統合といった問題がある。したがって、こうした問題を解決するため、いくつかのパターンをシミュレーションしていただき、水道料金をどうするのか慎重に審議をお願いしたい。

(2) 平成 24 年度長野市上下水道事業経営審議会スケジュール（案）について

○本年度の審議会スケジュール案について事務局から資料 4 により説明

○質疑応答等

- ・ 特になし

(3) その他

[委 員]

- ・ 県営と市営水道事業の割合を明らかにしてほしい。
- ・ 県営と市営水道事業の老朽化の度合いについて明らかにしてほしい。
- ・ 県営と市営水道事業の料金設定について知りたい。

[会 長]

- ・ 県営水道と市営水道を比較する意味は何かあるか。

[委 員]

- ・ 長野市内に二つの水道事業体が存在し、料金等を含めて差があるとしたら市民にとって平等なのかどうか。また、今後、老朽化や耐震化対策を進める際に、負担割合や料金設定に差が生じるのではないか、等について知りたい。

[会 長]

- ・ 今年度の審議会では、水道料金の改定について集中して議論したいと考えている。時間的に余裕があるようなら資料を求めていきたい。

[事務局]

- ・ 次回の審議会について、8月27日（月）午後1時30分より市役所講堂で開催する。

5 閉 会

(終了時間 16:32)